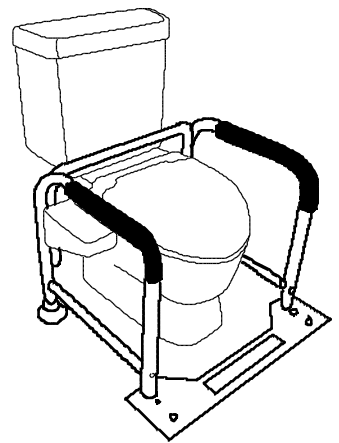


イーストアイ トイレの手すり ワイド&菱形タイプ (品番: MW30) 取扱説明書

この度は、「イーストアイトイレの手すり ワイド&菱形タイプ」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前に必ず、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。また、この「取扱説明書」はいつでも見られる場所に大切に保管してください。



【設置イメージ図】

【ご使用前に】 *必ずお読みください



警告

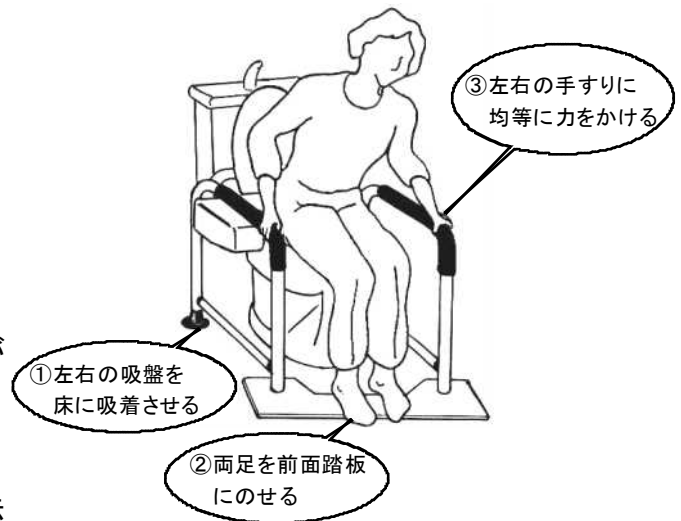
●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

- この製品は、洋式トイレ便座への腰掛け・立ち上りを補助するための手すりです。
和式トイレ、ポータブルトイレには使用できません。
また、ご使用の際は、後脚の吸盤を床面に吸着させ、前面踏板に両足をのせて、左右の手すりに均等に体重をかけてご使用いただく手すりです。(右図参照)
ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャー等)に使用することが可能かどうかを、ご相談ください。
また、長期間ご使用される間に、使用される方の症状が変わる場合があります。
定期的に専門家にご相談ください。

○用具選定の際の適合が十分でなかったり、正しい使用方法ができないと、症状の悪化や転倒事故などの原因となります。

- 使用される方の体力や状態により、介助の方が付き添いご使用ください。

- 製品は使用とともに劣化が進みます。取扱説明書をご参照の上、使用毎に各部を点検し、メンテナンスしていただきますようお願い申し上げます。この製品の保証期間はご購入日より1年間です。なお保証期間を経過し、長年ご愛用いただいております製品につきましては、特に注意して点検をしていただき、異常が見られる場合は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先: 12頁』または発売元までお問い合わせをお願いいたします。



<設置場所の事前確認>

- 通常住宅改修などで壁や床に固定するタイプの手すりとは異なり、特別な固定工事をせずに既存の洋式トイレにあとから簡易設置できることが特長の製品です。

次頁で、この「トイレの手すり」がご使用できるトイレかどうかを必ず、ご確認ください。

○無理な設置をされますと手すりが安定せず転倒事故などの原因となります。

警告

<ご使用できないトイレの確認>

(1) 吸盤が作用しない床では使用できません。

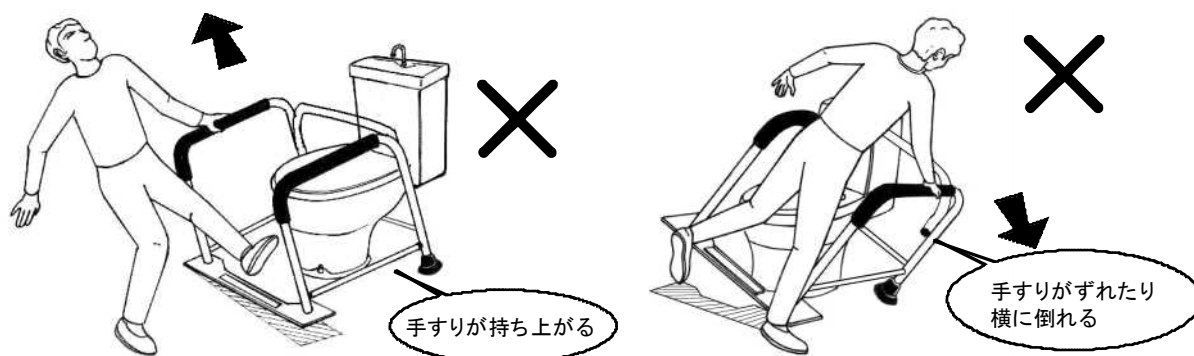
吸盤が床に吸着しない場合は、『設置1. 吸盤がトイレの床に吸着しない場合:8頁』をご参照ください。

(2) 補助ベルトが取付けられないトイレの場合。

- * 便器の形状によっては、補助ベルトを取付けられない場合があります。
- 補助ベルトを取付けられない場合には、前面踏板を床固定してご使用ください。



* 本製品は、一般的に床や壁などに固定せず床に置いて使用するため、トイレ室内が広い場合やご使用される方の症状により、とっさにトイレの手すりに頼り、つかまった場合、横転する危険性があります。



危険性の少ない方が使用される場合でも、安全のために補助ベルトを取付け、『使用方法:9頁』をご参照の上、手すりを正しくご使用ください。

補助ベルトの取付方法については、『設置2. 補助ベルトの取付方法:8頁』をご参照ください。

(3) ご使用される方の症状により、「手すりの片側に偏った力がかかる場合」や「前面踏板に両足をのせて体重をかけることができない場合」

→ 前面踏板を付属の前面踏板固定用ビスで床固定してご使用ください。

* 前面踏板の固定ができない場合は使用できません。

前面踏板の床固定については、『設置3. 前面踏板の固定方法:9頁』をご参照ください。

ねじ固定ができない床の場合(コンクリート・タイルなど)はアンカーなどで固定工事をしてください。

アンカーなどで床固定した場合、住宅改修となります。

ご使用可能な場合は、4頁以降の警告などもあわせてよくお読みになり正しくご使用ください。

《福祉用具レンタル事業者の皆様へのお願い》

トイレの手すりをレンタルされる場合、実際にご使用になるお客様に事前にトイレの手すりの使用方法、取扱上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分説明していただくようお願いします。

また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険(例:トイレ用具、段差、敷物など)がある場合、ご利用者様に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。

* 弊社ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードすることができます。
(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

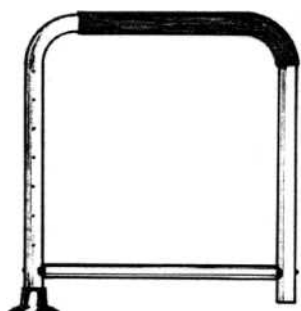
目次

・ご使用の前に ……………1～2P	・トイレに組立設置 ……………7～9P
・部品明細 ……………3P	・こんな場合は ……………9P
・警告表示の説明 ……………4P	・ご使用方法 ……………9P
・使用上の警告と注意 ……………4～5P	・お手入れの際のチェックポイント ……………10～11P
・手すり形状の選択 ……………6P	・品質表示 ……………11P
・仮組立練習 ……………6P	・安全に製品をご使用いただくために ……………12P

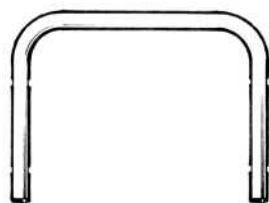
【部品明細】

各部品の種類、および数量をご確認ください。

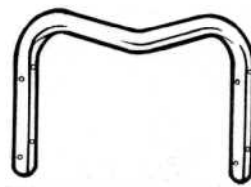
万一不足している場合には、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。



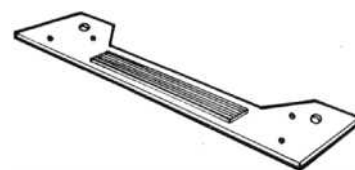
手すりパイプ × 2



E型組立用背パイプ × 1



A・B・C・D型組立用
背パイプ × 1



前面踏板 × 1



背パイプ用プラスチック
キャップ × 2



前面踏板
取付ビス × 2



背パイプ
取付ビス × 4

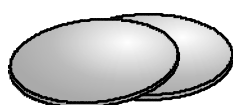


六角レンチ × 1

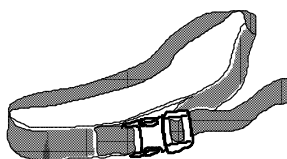


スパナ × 2

《補助部品》



吸盤用補助板 × 2
(透明樹脂)







補助ベルト × 1
(バックル付)



前面踏板
床固定用ビス × 4

【警告表示の説明】

警告表示：  警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用する方が、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	警告表示：  注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用する方が、傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
図記号：  禁止 使用の際に「してはいけない内容(禁止)」を示しています。	図記号：  必ずおこなう 使用の際に「必ずお守りいただく内容(実行)」を示しています。

【使用上の警告と注意】 * 安全のために必ずお守りください

警告

●は使用に際しての具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

吸盤をしっかり作用させて使用

必ずおこなう

- 手すりパイプ後脚の吸盤を床にしっかりと吸着させてご使用ください。
- 吸盤は時間が経過すると外れることがあります。ご使用前に左右の吸盤が吸着していることを確認し、外れている場合はしっかりと床に吸着させてください。
- 手すりパイプがしっかりと固定されず、力がかかった時に手すりがずれて、便器や周囲の機器(温水洗浄便座、給水管など)の破損や、使用される方が転倒するなどして思わぬ事故の原因になります。
トイレの床に吸盤が吸着しない場合は(床面がタイル張りなど)、付属の吸盤用補助板を床に貼付けてその上に吸盤をしっかり吸着させてご使用ください。
『吸盤がトイレの床に吸着しない場合：8頁』をご参照ください。

前面踏板上に両足をのせて使用

必ずおこなう

- 便座に腰掛ける時、便座から立ち上がる時、特に前面踏板上を床に固定しないで使用される場合は、必ず前面踏板上に両足をのせてご使用ください。
- この製品は、後脚の吸盤を作用させた後、前面踏板上に両足をのせて体重をかけることで安定します。前面踏板上に両足をのせず使用すると、手すりが安定せず、使用される方が転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

偏った体重をかけない

必ずおこなう

- 便座に腰掛ける時、便座から立ち上がる時は、必ず左右の手すりパイプを握り、均等に力がかかるようにご使用ください。
使用される方の身体の状態により、片側の手すりパイプに偏って体重がかかる場合は、前面踏板上を床に固定してご使用ください。
- 片側の手すりパイプだけに偏って体重をかけすぎると、身体の向きを変える時などに、使用される方が転倒するなど思わぬ事故の原因になります。

立ち上がる際に、手すりを引っ張らない

必ずおこなう

- 立ち上がる際に、手すりパイプを引っ張らず、下へ押しつけるようにしてご使用ください。
- 手すりパイプを引っ張ると吸盤が外れるなどし、手すりが不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

ネジがゆるんだまま
使用しない

●ネジは使用とともにゆるみが出る場合があります。ご使用前にネジのゆるみをご確認ください。また、ネジがゆるんでいる場合はレンチやドライバーでしっかり締め付けてください。

❶ 必ずおこなう

○手すりが不安定になり、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

パイプを曲げ戻さない
(修理の禁止)

●パイプに変形が見られる場合は、無理に元の状態に曲げ戻さないでください。

○金属パイプの性質上、一度曲がったパイプを曲げ戻して使用すると、徐々にパイプに亀裂が入り使用中に突然折れて、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。パイプに変形、異常が現れた場合は即時に使用を中止して、または『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。

⊖ 禁止

改造をしない

⊖ 禁止

●パイプに穴を開けたり、他の部品を取付けたり、他の部品に取替えるなどの改造は絶対にしないでください。

⚠ 注 意

用途について

●この製品は、洋式トイレ便座への腰掛け・立ち上りを補助するための手すりです。このトイレの手すりは和式トイレ、ポータブルトイレには使用できません。洋式トイレの手すり以外の用途では使用しないでください。

⊖ 禁止

○用途以外を使用をすると、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。

介助者が付き添い使用

●使用される方の体力や状態により、介助の方が付き添ってご使用ください。

乱暴な取扱いは
しない

⊖ 禁止

●乱暴な取扱いはしないでください。

○製品本体が変形や破損する恐れがあります。また、手すりが便器にぶつかるなど、便器や周囲の機器(温水洗浄便座、給水管など)の破損をまねく恐れがあります。

ネジ頭のトガリに注意

●補強パイプのゆるんだネジを締める時に、サイズの合わないドライバーを使用したり、無理にこじると、ネジ頭が傷つきトガリが出る場合があります。万一トガリが出た場合は、ヤスリなどをかけ、ネジ頭をなめらかにしてください。
(+ドライバーNO.3がおすすめです。)

❶ 必ずおこなう

○ネジ頭のトガリにより指などを傷つける恐れがあります。

その他

(色移りに注意)

❶ 必ずおこなう

●ご使用後はよく手すりのお手入れをしてください。
『お手入れの際のチェックポイント:10頁』をご参照ください。

○水気が残ったまま放置すると、吸盤の色やサビなどが溶け出し、床に付着する場合がありますのでご注意ください。


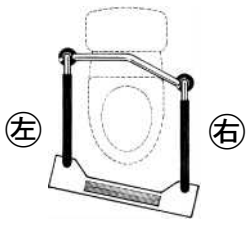
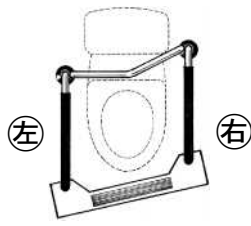
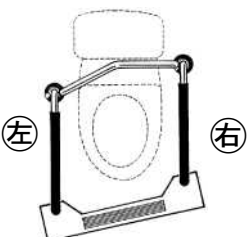
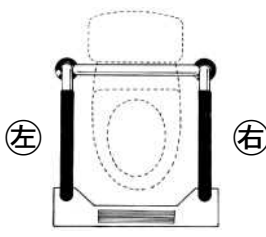
異常が現れた時には
(修理の禁止)

⊖ 禁止

●『お手入れの際のチェックポイント:10頁』をご参照の上、ご使用前に各部を点検してください。万一、製品に破損、変形などの異常が現れた場合は即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。
*お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。

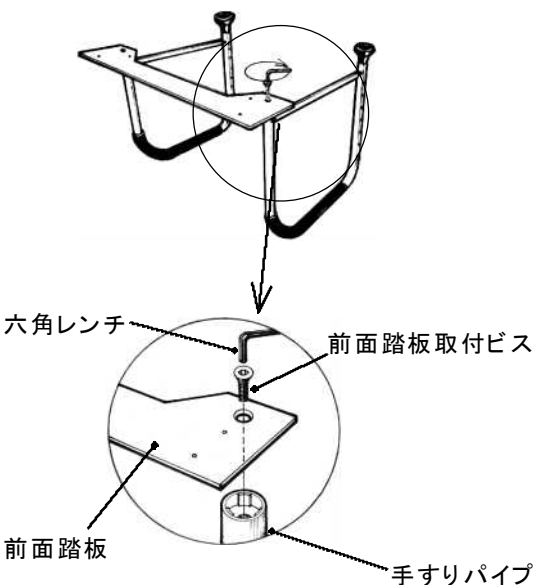
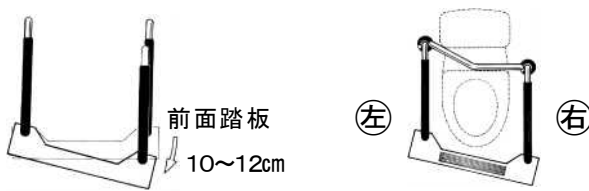
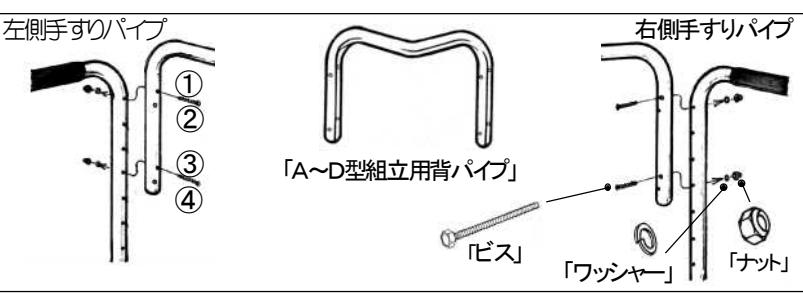
【手すり形状の選択】

この「トイレの手すり(MW30)」は、便器の種類、トイレの入り口等の設置条件に合わせて、「背パイプ」の取付方法を変えることにより、使いやすい手すり形状を5通りの中から選ぶことができます。

組立方法A型	組立方法B型	組立方法C型
「右側手すりを前に出す菱形タイプ」 	「右側手すりを前に出す菱形タイプ」 	「左側手すりを前に出す菱形タイプ」 
組立方法D型	組立方法E型	*組立自体は簡単ですが、5通りの組立方法ができる構造のため、「背パイプ」と「手すりパイプ」を接続するためのビス穴が複数あります。手すりを設置する前に、まず広い場所で一般的な組立方法A型を仮組立の後手すり形状を選択して、トイレに設置することをおすすめします。
「左側手すりを前に出す菱形タイプ」 	「トイレの手すりワイドタイプ」 	

【仮組立練習】

トイレでの組立前に広い場所で一度、「組立方法A型」を仮組立練習してください。

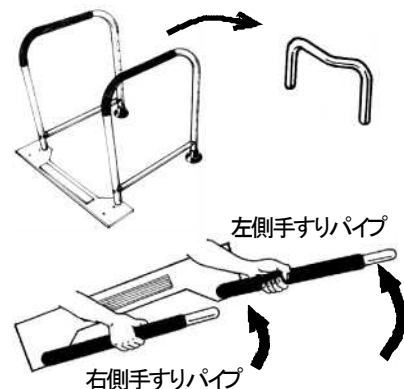
1. 「手すりパイプと前面踏板の取付」	2. 「背パイプの取付」
<p>下図のように、付属の「六角レンチ」を使い「前面踏板取付ビス」で「手すりパイプ」を仮止めします。</p>  <p>六角レンチ 前面踏板取付ビス 前面踏板 手すりパイプ</p>	<p>①「前面踏板」を取付後、下図のように右手すりパイプが10～12cmくらい、前になるように置いてください。</p>  <p>前面踏板 10～12cm</p> <p>②「A・B・C・D型背パイプ」の上から1・3番目の穴に「背パイプ取付ビス」を通し、「手すりパイプ」に左右合計4ヶ所仮止めします。</p>  <p>左側手すりパイプ ① ② ③ ④ 「A～D型組立用背パイプ」 右側手すりパイプ 「ビス」 「ワッシャー」 「ナット」</p> <p>*「背パイプ取付ビス」は、「ビス・ワッシャー・ナット」の3個の部品から構成されています。「ビス」を「背パイプ」から「手すりパイプ」へ通し「ワッシャー」をはめて、「ナット」を仮止めしてください。</p>

【トイレに組立設置】（組立1 から 組立2-1, 2-2, 2-3 のビスは仮止め!）

組立1. 「手すりをトイレに移動」

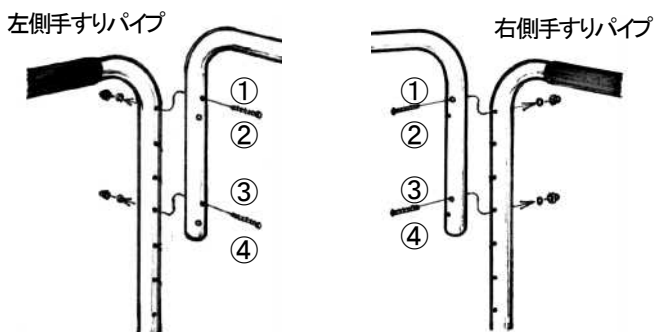
トイレ室内に入れやすいように、仮組立2で仮止めした「背パイプ」を一度取外し、左右の手すりパイプを折りたたみ、トイレ室内に運んでください。
ご使用されるトイレに合った取付方法を「組立方法A・B・C・D・E型」より選択します。
次に選択した組立方法に該当する項目をお読みください。

- ・組立方法A・B型を選択した場合は、説明「組立2-1」→「組立3」へお進みください。
- ・組立方法C・D型を選択した場合は、説明「組立2-2」→「組立3」へお進みください。
- ・組立方法E型を選択した場合は、説明「組立2-3」→「組立3」へお進みください。



組立2-1 「組立方法A・B型の場合」

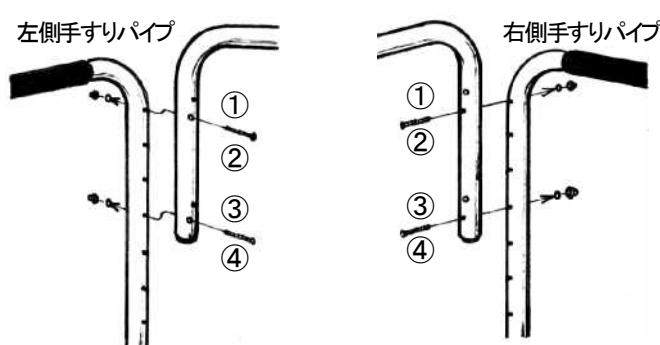
- ①右手すりパイプが少し手前になるように、便器にかぶせて置きます。
- ②「背パイプ」の上から1・3番目の穴に「背パイプ取付ビス」を通し、「手すりパイプ」に左右計4ヶ所仮止めします。



- * 高さは4段階調節できます。
- * 使用する背パイプは「A～D型組立用」です。

組立2-2 「組立方法C・D型の場合」

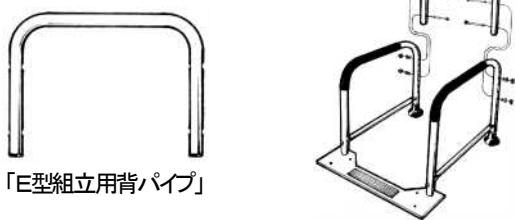
- ①左手すりパイプが少し手前になるように、便器にかぶせて置きます。
- ②「背パイプ」の上から2・4番目の穴に「背パイプ取付ビス」を通し、「手すりパイプ」に左右計4ヶ所仮止めします。



- * 高さは4段階調節できます。
- * 使用する背パイプは「A～D型組立用」です。

組立2-3 「組立方法E型の場合」

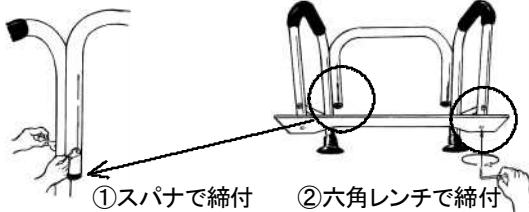
- ①左右両手すりが左右対称になるように、便器にかぶせて置きます。
- ②便座のフタを開閉できる高さに合わせて、「E型組立用背パイプ」を「背パイプ取付ビス」で左右計4ヶ所仮止めします。



- * 高さは4段階調節できます。
- * 使用する背パイプは「E型組立用」です。

組立3 「仮止めビスの締付」

- ①「背パイプ取付ビス」を左右4ヶ所、付属の「スパナ」で締め付けます。
- ②「前面踏板」を少し持ち上げ、「六角レンチ」で「前面踏板取付ビス」を左右2ヶ所しっかり締め付けます。



⚠ 注意

●ビスを締め付ける際の注意

ビスの締めすぎにご注意ください。ビス先がナット上面と同じ高さになる状態まで締め付けてください。
ビス先がナットの上面から飛び出ないようにしてください。



<正しい状態>



<ビス先が飛び出た状態>

組立4 「プラスチックキャップの取付」

「背パイプ」に付属の「背パイププラスチックキャップ」を左右2ヶ所取付けます。



設置1.吸盤を床に吸着させる

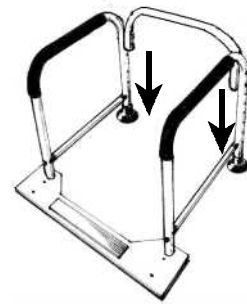
手すりパイプの上から力をかけて吸盤を床に吸着させます。

△ 注意

- 吸盤の奥までパイプが差し込まれていることをご確認ください。
脚先パイプが吸盤の奥まで入っていないとガタつきます。手すりの開きを固定して床に置いた時にガタつきがある場合は、吸盤を奥まで押し込んでください。

* 吸盤がトイレの床に吸着しない場合

トイレの床面がタイル張りなどで吸盤が吸着しない場合は、付属の吸盤用補助板をご使用ください。
貼付後は吸盤がしっかりと作用することをご確認ください。



吸盤用補助板のはくり紙をはがす

<吸盤用補助板の取付方法>

- ①トイレの床面のほこりや汚れなどをふき取りよく乾燥させてください。
- ②トイレの手すりを仮設置して吸盤の位置を確認してください。
- ③吸盤用補助板裏面のはくり紙をはがし、仮設置で確認した吸盤の位置にしっかりと貼付けてください。
- ④トイレの手すりを設置してください。

「吸盤用補助板の貼付けができない床材質の場合」

「吸盤用補助板が、はがれやすい床材質の場合」

} → この手すりは使用できません

△ 注意

- 貼付けた吸盤用補助板をはがす時、貼付けた床材によっては表面が破れるなど破損することがあります。
貼付け前に床材をよくご確認ください。
- 吸盤用補助板裏面の粘着面は、一度貼付けてからはがすと、粘着力が落ちます。
貼り直すことのないように、貼付ける位置を正確に確認した上で貼り付けてください。
- 吸盤用補助板は消耗品です。粘着力が弱くなりはがれる場合は『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。

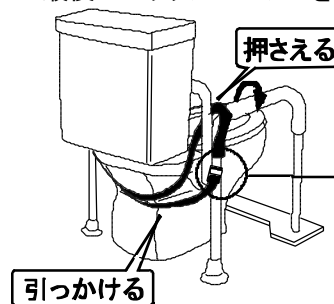
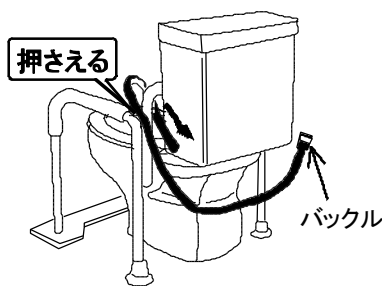
設置2.補助ベルトの取付方法

1. ベルトを便器の後側に通します。

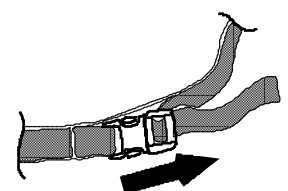
ベルトの端部をサイドパイプ外側から背パイプの接合部を押さえるように通します。

2. ベルトを便器の下部に引っかけて、背パイプの内側からサイドパイプを押さえるようにまわします。

最後にバックルにベルトを通し、しっかりと締め付けます。



<バックル拡大図>



引っ張り、締める

△ 注意

- ベルトの端が余る場合には、巻き込んで処理してください。
- ベルトで給水パイプや電気コードなどを巻き込まないようにご注意ください。
- ご使用前にベルトのゆるみを確認し、ゆるみがある場合には締め直してください。
- バックルには表裏があります。表側を上にしてベルトを通してください。
- このベルトはあくまでも補助部品です。ベルトを取付けた場合でも取扱説明書の使用方法を守り正しくご使用ください。
- トイレの形状により、補助ベルトの取付が出来ない場合は、前面踏板を床固定してご使用ください。

* バックルの表と裏を間違えないようご注意ください。

<表>

<裏>

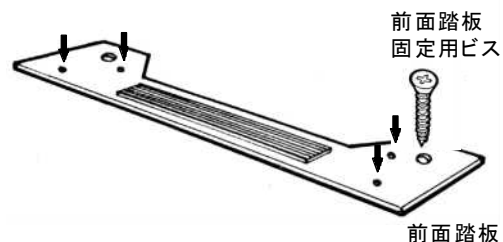


* バックルの表を上にする



設置3.前面踏板的固定方法

前面踏板的床固定が必要な場合や、補助ベルトの取付が出来ない場合は、前面踏板固定用ビスを前面踏板的ネジ穴に通して床に固定してください。ビス固定ができない場合（コンクリート・タイルなど）アンカーなどで固定工事をしてください。アンカーなどで床固定した場合、住宅改修となります。



⚠ 警告

●補助ベルトの取付ができず、床固定も出来ない場合はこの手すりは使用できません。

【こんな場合は・・・】

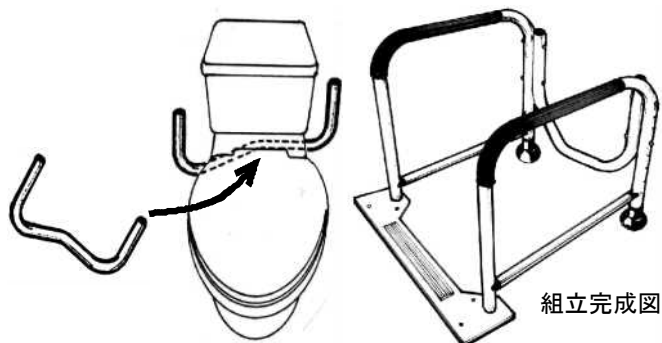
1. 温水洗浄便座トイレをご使用の場合

便座横の操作パネルにより、手すりを設置しにくい場合があります。この場合は、手すり下方についている「補強パイプ」を一度ドライバーで外してから、組立ててください。



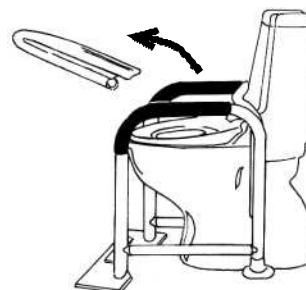
2. 「背パイプ」が取付けられない場合

水洗タンク等により、「背パイプ」が通常の方法で取付られない場合は、下図のように「背パイプ」を逆さまにして組立ててください。



3. 便座フタを開けた時に水タンクとの間にすき間がないトイレの場合

便座フタと水タンクの間に「背パイプ」を通すだけのすき間がない場合は、トイレの便座フタを取外してご使用ください。

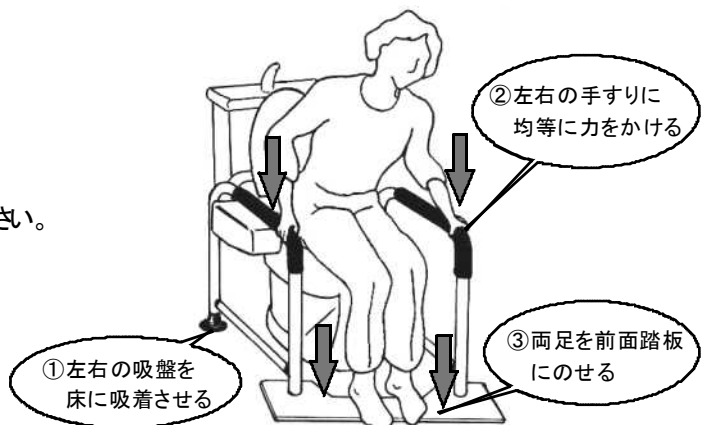


* 便座フタの取外方法については、トイレ本体の取扱説明書をご参照ください。

【ご使用方法】

- ①使用時に後脚の吸盤を作用させる。
- ②前面踏板上に両足をのせ、手すりを安定させる。
- ③手すりの上から左右均等に体重をかけて使用します。

- 使用される方の体力や状態により、介助の方が付き添ってください。
- 吸盤は時間が経過すると外れることがあります。ご使用前に左右の吸盤が吸着していることを確認し、外れている場合は床に吸着させてください。
- 補助ベルトをご使用の場合は、ゆるみを確認し、ゆるみがある場合には締め直してください。



【お手入れの際のチェックポイント】 警告

トイレの手すりを長く安全にお使いいただくために、以下の項目をご使用前に点検してください。

万一、製品に破損、変形などの異常が現れた場合は即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。お客様ご自身での修理は絶対にしないでください。

＜お手入れの際のご注意＞ 注意

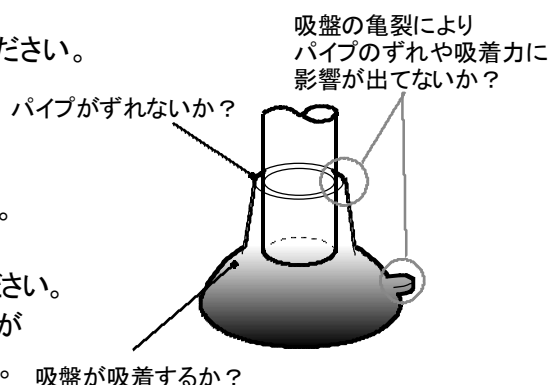
- お手入れの際にはケガなどには十分にご注意ください。
- 使用時に濡れた場合は本体の水気をよくふき取ってください。また、汚れた場合は早めに汚れをふき取ってください。
- 汚れたまま、濡れたままで放置すると金属部分がさびが出たり、樹脂部品の劣化（退色、亀裂）が進行しやすくなる原因になります。
- 汚れを落とす際には、水または薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞り、汚れをふき取った後は、乾いた布で水気をしっかりふき取ってください。シンナーやベンジン、塩素系洗剤等は使用しないでください。
- シンナーやベンジン、塩素系洗剤等で手すりやゴム部分が劣化したり、溶け出す恐れがあります。

＜吸盤＞

- ・吸盤がトイレの床に吸着するかご確認ください。
- ・吸盤がパイプから簡単にずれたり、吸盤に亀裂がないかご確認ください。

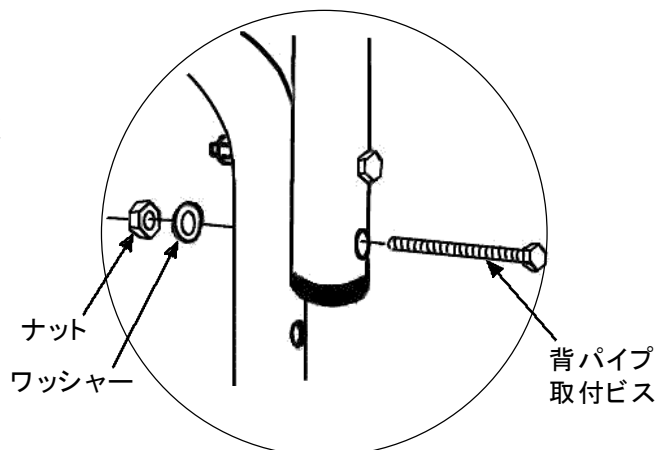
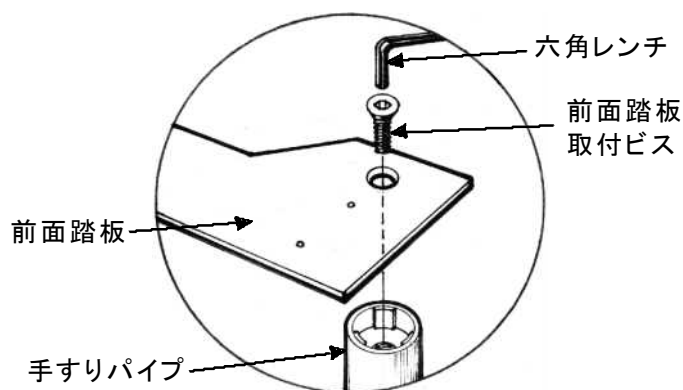
警告

- ご使用とともに吸盤のゴムが劣化して亀裂が入ることがあります。吸盤に亀裂がみられた場合は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。
- 吸盤が床に吸着しなくなったり、ご使用中に吸盤から脚先パイプが抜けたりして、転倒によるケガなど思わぬ事故の原因になります。吸盤が吸着するか？



＜前面踏板取付ビス・背パイプ取付ビス＞

- ・ビスにゆるみがないかご確認ください。
- 前面踏板取付ビスがゆるんでいる場合には、付属の六角レンチを使って締付けてください。背パイプ取付ビスがゆるんでいる場合には、付属、または市販のスパナを使って締付け直してください。



【お手入れの際のチェックポイント】 続き



●は使用に際しての、具体的な警告・注意・確認事項を表記しています。
○は●の事項を守らずに使用した場合に起こりうる結果を表記しています。

＜本体フレーム＞

- ・パイプやパイプの穴付近に変形や亀裂などがないかご確認ください。
- ・補強パイプの取付ネジがゆるんでいる場合は締め直してください。
- ・パイプはスチールです。水分や汚れは、こまめにふき取ってさびないようにしてください。



- パイプに変形がみられる場合は、無理に元の状態に曲げ戻さないでください。パイプに異常が現れた場合には、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。

＜手すりグリップについて＞

- ・使用中に切れたり消毒などにより劣化していないかご確認ください。
- ・手すりの発泡ゴムはトイレ内の臭気や水分を吸いやすく劣化が早いため、破損や亀裂などがないか特に注意して状態をご確認ください。

＜前面踏板＞

- ・前面踏板にさびが出ていないかご確認ください。
水やお小水がかかるなどして汚れたまま、濡れたまま放置するとさびが出ます。汚れや水分はこまめにふき取って清潔に保ってください。
- ・滑り止めゴムマットにはがれや切れがないかご確認ください。

＜吸盤用補助板＞（ご使用の場合のみ）

- ・吸盤が吸盤用補助板に吸着するか、吸盤用補助板が床面にしっかりと貼付いているかご確認ください。
吸盤用補助板に水がかかったまま放置すると、床面との粘着力が落ちたり、吸盤が吸着しづらくなり危険です。
かかった水分はお早めにふき取り乾燥させてください。
吸盤用補助板は消耗品です。粘着力が弱くなりはがれる場合は即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:12頁』または発売元までお問合せください。

【品質表示】

寸 法	: 外形:幅680×奥行800×高さ460~670(菱形) 手すり高さ:600 外径:幅665×奥行680×高さ460~670(ワイドタイプ)
材 質	: ■本体フレーム:スチール(手すり・背パイプ) ■グリップ:発砲ゴム ■吸盤:合成ゴム ■前面踏板:ステンレス(ゴムマット付き) ■補助ベルト:ポリエステル ■バックル:ポリアセタール ■吸盤用補助板:A-PET
耐 熱 温 度	: 60度
取扱上の注意	: 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤をご使用ください。火のそばに置かないでください。
重 量	: 約6.7kg
製 造 元	: 株式会社イーストアイ

【安全に製品をご使用いただくために・・・】

《レンタル事業者様へ》

- 「イーストアイ・トイレの手すり・ワイド&菱形タイプ」をレンタル品としてお取扱いいただきまして誠にありがとうございます。トイレの手すりをレンタルされる際には、実際にご使用になるお客様に、手すりの使用条件、使用方法、取扱い上の警告・注意事項など、この取扱説明書の内容について十分説明していただくようお願いいたします。また、実際に使用される場所をご確認いただき、周辺に障害物などの危険(例:トイレ用具、段差、敷物など)がある場合、ご利用者様に対して、「使用環境の整備」と「事故防止の対策」などの提案をお願いいたします。この説明書の内容をご説明いただいた後、必ず下記『アフターサービスのお問合せ先』の各事項を記入の上、商品と一緒にご利用者様へお渡しください。
- ご使用前に専門家(医師、理学療法士、介護福祉士、ケアマネージャーなど)にご相談ください。長期にわたってレンタルされる場合はご使用される方の症状が変わる場合があります。定期的にご利用者様にとってこの用具が正しく、安全に使用することが可能かどうか、製品の状態、使用方法や使用状況などをご確認の上、再度、用具の選定の検討や正しい使用方法のご説明をお願いいたします。
- 定期的にご利用者様宅を訪問の際に、手すりの状態を「10～11頁:お手入れの際のチェックポイント」に基づきご確認いただき、メンテナンスを行ってください。製品は外部から見て損傷がないように見えても、ご使用とともに金属疲労、紫外線などによる樹脂の劣化・退色、ゴムの摩耗や硬化などの経年劣化が進み、強度不足など総合的に製品の安全性に問題となる場合があります。点検後に異常が見られる場合は、即時に使用を中止して製品の回収をしていただき、下記:「製品についてのお問合せ先」まで修理のご依頼をお願いいたします。メンテナンス不良のまま製品の使用を続けると製品の破損や転倒など思わぬ事故の原因になります。定期的にメンテナンスをお願いいたします。
- 弊社では定期的に取り扱説明書を改訂しております。商品をご購入後、1年以上を経過して再レンタルなどの場合には、ホームページから介護保険貸与対象福祉用具の「取扱説明書」の最新版をダウンロードしてご利用ください。
(ホームページURL <http://www.easti.co.jp>)

《ご利用者様、介護される方へ》

- この度は「イーストアイ・トイレの手すり・ワイド&菱形タイプ」をご使用いただきまして誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品を安全にご使用いただくための警告・注意事項や使用方法、お手入れの際のチェックポイントや点検方法などが記載してあります。レンタル開始時に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、不明な点がございましたら、貸与を受けているレンタル事業者までお問合せください。ご使用の間に、製品に破損や変形などの異常がみられる場合は、即時に使用を中止して、『アフターサービスのお問合せ先:下記』または発売元までお問合せください。

『アフターサービスのお問合せ先』

製品名 トイレの手すり・洋式タイプ (品番:MW30)	レンタル開始日	年	月	日
※会社名 (住所/電話番号をご記入ください)				

※商品に異常が見られる場合はすぐに使用を中止し上記レンタル事業者に連絡してください。

- * 無断転載・複写を禁じます。
- * 説明の都合上、実際の製品に対し、全てのイラストは簡略化しています。
- * 製品を譲渡される場合は、必ず合わせて本説明書もお渡しください。
- * 廃棄の際には、居住地の自治体の指示に従い処分・廃棄してください。



＜製品についてのお問合せ先＞

株式会社イーストアイ(発売元)

〒123-0864

東京都足立区鹿浜1-4-14

TEL 03(3897)9393 / FAX 03(3897)9535

[mw30_161202_d]